

みんなの

ちいさ ふくし

CHI-KI FUKUSHI SOJA CITY COUNCIL OF SOCIAL WELFARE

社協だより

vol.79

11
2025

CONTENTS

地域ニュース from 地区社協	2
地域の支え合い活動 / 子ども食堂	3
ボランティアセンター / 介護予防拠点施設	4
権利擁護センター	5
講座案内	6
そうじゃてのひらマルシェ / 弁護士コラム	7
事業報告・決算	8
在宅福祉係 / ひきこもり支援	10
まごころのページ / 日赤 / 赤い羽根共同募金	11
ハートフルそうじゃ	12

赤い羽根共同募金活動 10月1日～12月31日

赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございます！



令和7年度赤い羽根共同募金
ポスター作品コンクール
最優秀賞
伊藤 稔真さん
(新本小学校4年)

今年も、10月1日から全国一斉に、赤い羽根共同募金運動がスタートしています。

総社市内でも各戸への戸別募金や学校、駅、企業等でご協力いただいております。

運動期間中、ご協力ををお願いいたします。



社会福祉法人 総社市社会福祉協議会

「すべての住民が、自分の住み慣れた地域で、自分らしく、生き生きと、豊かに暮らせるふれあい、助けあい、支えあいのある住民主体の福祉コミュニティの実現」



総社北地区社協

誰もが暮らしやすい
地域を目指して



私たちの地域は、今年4月から旧総社地区社協を、よりきめ細やかな活動ができるように、小学校単位に3分割しました。地域特有の事情などを考慮した活動をしています。

見守りチェックのチラシ作成や地区企業への見守り協力依頼、子どもの減少でほとんど敬老会食堂となっている、きたっこ食堂などを実施しています。

中でも敬老会については3年前から総社北小学校で実施し、踊りや演奏、コーラスやマジックなどみんなに楽しんでもらってます。

今後は福祉を必要とする方達の、情報共有強化に向けた取り組みをすすめていこうと思っています。

(執筆者 A.T)



阿曽地区社協



認知症について学びました！

令和7年7月24日（木）に阿曽地区民生委員・児童委員及び福祉委員合同研修会を特別養護老人ホーム「きのこ荘」にて実施しました。

「認知症」の負のイメージ（偏見）の変換、捉え方を変えたいという視点の研修でした。認知症は程度も幅も様々で、亡くなるまで楽しく・幸せに生活できる人も多くおられ、生きがいや楽しみ、居場所・役割がある人は、進行がゆっくりで、新規薬剤も出ているそうです。認知症の負のイメージ（認知症は不幸）を変えて、認知症になっても大丈夫なように今から備え、安心して認知症になれる地域をつくっていきたいと感じました。65歳以上6人に1人は認知症になります。みんな年をとれば認知症になることを理解し楽しく・幸せに暮らしていきましょう。

阿曽地区でも見守り活動をしていますが、多くの方の思いに寄り添いながら、今後も活動していきたいと感じました。

(執筆者 I.N)



新本地區社協



「移動・外出」支援について 考えています！

新本地區社協では、「移動・外出」支援について具体的な方法を模索しています。令和5年度には地区の70歳以上の住民全員を対象に「移動・外出に関するアンケート調査」を実施し、約8割の方から回答をいたぐことができました。その回答の中で多かった意見は「買い物はなんとかなっているが、雪舟くんを活用しても医療機関への往復に困っている」ということでした。「今はなんとかなっているが、5年後は不安」と7割以上の住民が答えておられるのも気がかりです。そこで、本年度は「どのようなことが検討しているのか？」を市の担当課にも情報をいただきながら、検討を進めていきたいと思います。

(執筆者 S.O)



子ども食堂

パンフレット完成しました！！

総社市社協では、子ども食堂の立ち上げ・運営継続における助成、市内で活動する食堂のネットワーク形成のための連絡会などを通じて、地域で活動する子ども食堂のみなさまを支援しております。

この度、現在市内で9ヶ所ある食堂の活動内容や様子をまとめたパンフレットを作成いたしました。ぜひご活用ください！



総社市子ども食堂パンフレット
ダウンロードはこちから→

※開催状況は変更となる場合がありますので、
最新情報は本会までお問い合わせください。

地域の支え合い活動を紹介

買い物援助隊（買援隊）

三須桃山団地在住の方を対象に、買い物支援（スーパーへの送迎）を毎週水曜日の午前に行っていきます。

総社市版ライドシェア事業にも登録しています。



その他、病院等への送迎、ゴミ出しのお手伝いも行っています。

移動・外出支援ガイドブック完成！

新たに移動支援団体を立ち上げる方向けたガイドブックを作成しました。

立ち上げに向けて検討すること、実際に移動支援を行っている団体の事例などを掲載しています。



気になる方はぜひ下記問い合わせ先までご連絡ください！

【お問い合わせ】地域共生推進課 地域福祉係

TEL : (0866) 92-8552 FAX : (0866) 94-0089 E-mail : chiiki@sojasyakyo.or.jp



総社市ボランティアセンター

ボランティアセンターでは、ボランティアに参加する機会をより多く作り、日常での地域との繋がりを作り、地域を活性化させるための活動を行っています。

①ボランティアコーディネート

「ボランティアをしたい」、「ボランティアに来てほしい」という相談をお受けし、それぞれの想いをお繋ぎしています。



②ボランティアの養成

子どもから大人まで、幅広い世代の方を対象に、様々な講座・体験の機会を設け、地域におけるボランティア活動者の養成に努めています。



ボランティアに関することはお気軽にお問い合わせください。
ボランティア募集はこちらから確認ください。



紹介

介護予防拠点施設

やすらぎの家
ひだまりの家
さんあいの家



介護予防を目的とした施設です。高齢者が、地域とのふれあいの中でいきいきとした生活ができるよう、ふれあいサロンやいきいき百歳体操などが行われています。健康増進や地域の交流の場として、ぜひご利用ください。

住 所：総社市中原 574-1 (やすらぎの家)
総社市清音柿木 620-1 (ひだまりの家)
総社市清音上中島 266-1 (さんあいの家)
開館時間：9時～16時30分
休 館 日：日曜日、祝祭日、年末年始
使 用 料：無料
※部屋の使用は、事前に予約が必要。

管理ボランティア募集中！

介護予防拠点施設を管理していただけるボランティアを募集しています。主な活動内容は、開館や閉館の準備、部屋の予約申請の受付、来館された方の対応などです。

日 時：午前の部（9時～13時）
午後の部（12時30分～16時30分）

※午前・午後のいずれか半日でお願いします。

活動費：500円（半日）

【お申込み・お問い合わせ】

地域共生推進課 地域福祉係

TEL：(0866) 92-8552

">>>> 誰もが安心して暮らしやすい地域について考えています <<<

高齢者の虐待防止に向けて
【7月18日（金）虐待防止研修会】

「安心して地域で暮らし続けるために～高齢者の権利擁護～」をテーマに、地域の方や福祉関係者など、30名にご参加いただきました。

美作大学 松尾彰先生から、高齢者虐待をテーマにお話いただき、虐待防止・早期発見には周囲からのあたたかな見守りや声かけが大切だと、理解を広める機会となりました。

【参加者の声】



「早期発見が大切だと思った」
「介護者にいたわりの言葉をかけるように
したい」

成年後見制度の基本の「き」
【8月28日（木）成年後見セミナー】

成年後見制度に関心のある地域の方など24名にご参加いただきました。

講師の総社法律事務所の岡田孝文弁護士から、成年後見制度の概要や現状をお話いただき、認知症や知的障がい・精神障がいのある方などの権利を守るための制度として、理解を深めました。また、市民後見人の藤井良子氏からは日頃の後見活動について、同じ市民の目線を持って後見人としてかかわっていく意義ややりがいをお伝えいただきました。

【参加者の声】



「制度について具体的に聞けて良かった」
「市民後見人として長年のサポートが素敵だ
と感じた」

権利擁護推進講座（成年後見制度などについて）を開催予定です。詳細は本会HPをご覧ください。

ふくしネットそうじゃ「地域見守り応援事業」開始！

「ふくしネットそうじゃ」は、高齢者施設や障がい者施設、保育園など市内の社会福祉法人（19法人）からなる団体です。地域における公益的な取り組みを考え、実践しています。

加入法人（敬称略・順不同）

スキーム福祉の会、雪舟福祉会、超寿会、光優会、新生寿会、経山会、吉備路の会、総社市社会福祉事業団、ももぞの学園、金曜会、クムレ、鶯園、吉備のくに福祉会、あのね保育園、真美会、進和福祉会、すずらん保育園、総社福祉会、総社市社会福祉協議会



地域見守り応援事業とは…

法人の送迎車などに見守リストッカーを貼り、地域での安全・安心を緩やかに見守ります。お困りの際はお声かけください。

【お問い合わせ】

ふくしネットそうじゃ事務局（市社協内）
TEL: (0866) 92-8552 FAX: (0866)-94-0089



講座案内

「犯罪被害者支援講演会」開催と 「ホンデリング・プロジェクト」 のお知らせ

毎年11月25日～12月1日は「犯罪被害者支援週間」です。犯罪被害の現状や地域における犯罪被害者支援を知ることも、地域でできることを考える」と目的に犯罪被害者支援講演会を開催します。

◆日時：令和7年11月28日（金）

13時30分から15時まで

◆場所：総社市役所チュッピーホール

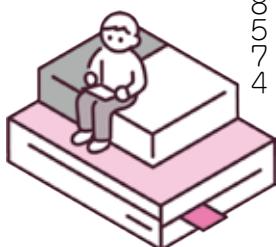
◆講演：「SNSから始まる犯罪被害の現状と被害者支援」

◆講師：（公社）被害者サポートセンターおかやま
片山文氏

また、権利擁護センターでは、みなさまから古本の寄付を募っています。いたいたいた古本は、犯罪被害者支援団体にお渡しし、その売却代金が支援活動に役立てられています。ぜひ、ご協力をお願いします。（11月21日～12月5日の間）

◆お申込み・お問い合わせ
権利擁護センター「じえん」

☎：（0866）92-81574



法律ミニ講座

権利擁護センター所属の弁護士が、日常生活での身近な法律などをテーマにお話します。

◆日時：

⑥令和7年12月11日（木）「成年後見制度について」
⑦令和8年1月8日（木）「日常生活上のトラブルと法律①（近隣トラブル等）」

⑧令和8年2月12日（木）「日常生活上のトラブルと法律②（消費者被害等）」

⑨令和8年3月12日（木）「法律問題あれこれ」
いずれも14時から15時30分

※①～⑤の講座は今年度終了

◆場所：中央公民館 2階 第1会議室

◆お申込み・お問い合わせ
権利擁護センター「じえん」

☎：（0866）92-81574

定年前後の生きがいづくり講座

定年後に地域で楽しく活動ができるよう、支え合い活動について考え、知つていただく機会として開催します。当日は、講座をはじめ、地域の支え合い活動を行っている人の話を直接聞くことができる機会となっています。

◆お申込み・お問い合わせ
権利擁護センター「じえん」

◆日時：令和7年12月7日（田）
10時から12時まで

◆場所：山手公民館 多目的ホール

◆お申込み・お問い合わせ
地域共生推進課 地域福祉係

☎：（0866）92-81552



みんなで学ぼう！発達障がい

発達障がいについての講座を5回シリーズで開催します。発達障がいの基礎的な知識について学ぶ良い機会ですので、ご興味・ご関心がある方は是非、ご参加ください！

参加方法は、会場参加もしくは、録画配信です。
権利擁護センター所属の弁護士が、日常生活での身近な法律などをテーマにお話します。

◆日時：時間はいずれも10時から11時30分まで

①令和7年10月21日（火）「発達障がいの理解」
②令和7年11月27日（木）「個々の理解に応じた関わり」

③令和7年12月22日（月）「わかりやすい伝え方」
④令和8年1月15日（木）「子どもからの発信を育てる」

⑤令和8年2月5日（木）「ライフステージに応じた支援に向けて」

◆場所：①②④⑤中央公民館第1会議室
③総社市役所 チュッピーホール

◆講師：重松孝治氏（川崎医療福祉大学）

◆お申込み・お問い合わせ
障がい者基幹相談支援センター

☎：（0866）92-81578
Fax：（0866）92-82884

うじやてのひら マルシェフェア

宮脇書店 総社店 ヒロシゲマエ

「障がいのある人が作ったから買ってあげよう」ではなく、
「本当に良いものだから買いたい」と
お客様が思える商品をめざして頑張っています。
想いやストーリーを感じながら、お買い物をお楽しみください。



期間：令和8年2月3日（火）から3月15日（日）まで
会場：宮脇書店総社店ヒロシゲマエ

お問い合わせ：市地域自立支援協議会事務局
TEL：(0866) 92-8379



最新情報は
Instagram から！



私たちの日常生活にも、意外と法律の問題は潜んでいます。

Q & A形式で日常生活と法について、解説していきます。

Q 夫が事業に失敗し、多額の負債を抱えてしまいました。妻である私や、成人している息子や娘も一緒に負債を返済しなければならないのでしょうか。私はともかく、子どもたちには迷惑をかけたくありません。

A 借金（債務）については、原則として借主だけに返済義務があります。ご主人が借金をした際に、保証人にさえなっていなければ、家族であっても返済義務はありません。ただし、もし負債がある状況でご主人が亡くなってしまった場合は、その負債も相続人、つまり妻や子どもが相続で引き継ぐことになります。もっとも、その場合であっても相続放棄などにより相続を免れることも可能です。

いずれにせよ、多額の借金でお困りの場合は、一度弁護士などに相談することをお勧めします。

弁護士コラム 連載第8回

「日常生活と法律②」
～夫の借金は、私も
払う？～



権利擁護センター “しえん”
かわだ のぶか
弁護士 河田 布香

～令和6年度 主な実施事業～

「すべての住民が 自分の住み慣れた地域で 自分らしく生き生きと豊かに暮らせる ふれあい、助けあい、支えあいのある 住民主体の福祉コミュニティの実現」を使命として、以下の各種事業に取り組みました。

1. 法人運営事業

- (1) 組織運営
- (2) 人材育成
- (3) 福祉関係機関、団体との連携
- (4) 社会福祉協議会会員加入促進と強化
- (5) 社協活動の周知・啓発への強化
- (6) 民生委員互助共励事業の実施
- (7) 視察研修事業
- (8) 第2次総社市地域福祉活動計画の進捗管理

2. 共同募金・歳末たすけあい運動・赤十字事業

- (1) 共同募金・歳末たすけあい運動の実施
- (2) 赤十字事業の実施

3. 災害救護活動、災害救援募金の実施

- (1) 災害救護活動、災害救援募金等の実施

4. 福祉センター等管理運営事業

- (1) 総社市総合福祉センターの管理運営

5. その他福祉諸問題に関する対策の企画と実施

- (1) 関係機関の委員等への就任

6. 地域福祉事業

- (1) 住民主体の地区社協活動・小地区社協活動の推進
- (2) 民生委員・児童委員活動との連携
- (3) 福祉委員活動の推進
- (4) ふれあいサロン事業の推進
- (5) ボランティアセンター事業の実施
- (6) ボランティアセンター運営委員会
- (7) 福祉教育の推進
- (8) 生活福祉資金等の貸付
- (9) 子育て支援事業の実施
- (10) 福祉団体の支援
- (11) 社会福祉法人の公益的な取り組みへの参画
- (12) 日常生活自立支援事業の実施
- (13) 法人後見事業の実施
- (14) 社会福祉士現場実習生の受入

7. 生活支援体制整備事業

- (1) 協議体の開催
- (2) 社会資源の現状把握・活用・開発
- (3) 総社市生活支援にこにこサポーター連絡会への支援
- (4) 介護予防・生活支援サポーターの養成
- (5) そうじや60歳からの人生設計所事業との連携

8. 介護予防拠点施設等の運営

- (1) さんあいの家、ひだまりの家、やすらぎの家、山手ふれあいセンターの指定管理

9. 障がい者福祉事業

- (1) 障がい者基幹相談支援センターの設置運営
- (2) 発達障がい者支援体制整備事業の実施
- (3) 障がい者千五百人雇用センターの設置運営
- (4) 障がい者地域活動支援センター（I型）「ゆうゆう」の設置運営
- (5) 地域自立支援協議会の運営
- (6) 障がい者（児）団体の支援

10. 権利擁護事業

- (1) 権利擁護センター運営委員会及び支援検討委員会の開催
- (2) ワーキンググループの開催
- (3) 成年後見制度に関する事業（中核機関に関する事業）
- (4) 虐待対応に関する事業
- (5) 入居等の支援に関する事業
- (6) 犯罪被害者支援に関する事業
- (7) 権利擁護推進に関する事業

11. 生活困窮者支援事業

- (1) 生活困窮支援センター相談業務
- (2) 生活困窮支援センター協議会の開催
- (3) 学習等支援事業の実施
- (4) 食糧支援に関する事業の実施
- (5) ふくしネットそうじやとの連携

12. ひきこもり支援事業

- (1) ひきこもりからの社会参加の促進
- (2) ひきこもり支援センター「ワンタッチ」の設置運営
- (3) ひきこもり支援等検討委員会及び専門部会の開催
- (4) ひきこもりサポーターの養成
- (5) 居場所の設置、運営
- (6) ひきこもり家族会への支援、参加家族の拡充
- (7) ひきこもり支援フォーラムの開催
- (8) 全国ひきこもり支援基礎自治体サミットへの協力
- (9) ひきこもり者現状確認と地域との連携
- (10) 教育・福祉・保健医療の連携強化
- (11) 周知啓発活動

13. 重層的支援体制整備事業（新規）

- (1) 包括的相談支援事業
- (2) 地域づくり事業
- (3) 多機関協働事業

14. 在宅福祉サービス事業

- (1) 介護保険事業
- (2) 障がい福祉サービス事業
- (3) 車いす貸出事業
- (4) 虐待防止委員会開催
- (5) 感染対策委員会開催
- (6) 事業継続計画（BCP）の策定及び災害時机上訓練の実施

令和6年度 事業活動計算書

(単位：円)

(単位：円)

勘定科目		決 算
【サービス活動増減の部】		
収益	会費収益	14,133,280
	寄付金収益	4,335,062
	経常経費補助金収益	94,415,300
	受託金収益	161,233,300
	事業収益	3,764,202
	負担金収益	1,054,490
	介護保険事業収益	62,522,328
	障害福祉サービス等事業収入	47,146,900
	その他の収益	118,880
	サービス活動収益計 (1)	388,723,742
費用	人件費	313,068,713
	事業費	32,269,408
	事務費	23,952,929
	助成金費用	21,354,216
	減価償却費	7,997,931
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 5,492,783
	サービス活動費用計 (2)	393,150,414
	サービス活動増減差額 (3) = (1) - (2)	△ 4,426,672

勘定科目		決 算
【サービス活動外増減の部】		
収益	受取利息配当金収益	63,941
	雑収益	2,173,165
	サービス活動外収益計 (4)	2,237,106
	サービス活動外費用計 (5)	
	サービス活動外増減差額 (6) = (4) - (5)	2,237,106
	経常増減差額 (7) = (3) + (6)	△ 2,189,566
	【特別増減の部】	
	施設整備等補助金収益	200,000
	特別収益計 (8)	
	固定資産売却損・処分損	1
費用	国庫補助金等特別積立金積立額	200,000
	特別費用計 (9)	200,001
	特別増減差額 (10) = (8) - (9)	△ 1
	当期活動増減差額 (11) = (7) + (10)	△ 2,189,567
	【繰越活動増減差額の部】	
	前期繰越活動増減差額 (12)	121,480,450
	当期末繰越活動増減差額 (13) = (11) + (12)	119,290,883
	基本金取崩額 (14)	
	基金取崩額 (15)	
	その他の積立金取崩額 (16)	
サービス活動増減差額 (18) = (13) + (14) + (15) + (16) - (17)		119,290,883

令和6年度 貸借対照表

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
	当年度末		当年度末
流動資産	15,4114,101	流動負債	42,917,195
現金預金	82,587,221	事業未払金	23,966,053
事業未収金	67,557,880	預り金	71,885
未収補助金	3,969,000	職員預り金	2,749,257
固定資産	668,408,369	賞与引当金	16,130,000
基本財産	94,185,020	固定負債	148,664,930
建物	91,185,020	退職給付引当金	148,664,930
定期預金	3,000,000	負債の部合計	191,582,125
その他の固定資産	574,223,349	純 資 産 の 部	
車両運搬具	1,260,956	基本金	3,000,000
器具及び備品	6,179,218	基金	372,546,930
緊急援護資金貸付金	556,000	福祉基金	280,571,382
退職手当積立基金預け金	126,644,330	報奨基金	2,572,548
退職給付引当資金	22,020,600	地域福祉活動基金	89,403,000
福祉基金積立資産	280,571,382	国庫補助金等特別積立金	91,087,217
報奨基金積立資産	2,572,548	国庫補助金等特別積立金	91,087,217
地域福祉活動基金積立資産	89,403,000	その他の積立金	45,015,315
運用資金積立資産	15,015,315	運用資産積立金	15,015,315
備品等購入資金積立資産	30,000,000	備品等購入資金積立金	30,000,000
資産の部合計	822,522,470	次期繰越活動増減差額	119,290,883
		次期繰越活動増減差額 (うち当期活動増減差額)	119,290,883 △ 2,189,567
		純資産の部合計	630,940,345
		負債及び純資産の部合計	822,522,470

ケアマネジャーはお決まりですか？

私たちケアマネジャーは総社市内にお住まいで要介護認定を受けられた方を対象として、その方が住み慣れた地域でその人らしい生活が送れるようにサポートをさせていただいている。

介護に関する困りごとがあればお気軽にご相談ください。

お問合せ先：総社市社会福祉協議会 居宅介護支援事業所

TEL：(0866) 92-8565 E-mail：kaigo-soja@sojasyakyo.or.jp



※9月1日より新たな場所に事務所を移し活動しています。お気軽にお立ち寄りください。

新住所：〒719-1131 総社市中央二丁目5番115号

在宅福祉課 居宅介護支援係
TEL：(0866) 92-8565
訪問介護係
TEL：(0866) 92-8560
計画相談係
TEL：(0866) 92-8559



サイクル City 総社駅前店様の西隣りです

ひきこもりサポーター 養成講座を開催しました！

今年度も、ひきこもりサポーター養成講座（全3回）を開催しました。ひきこもりとはどういう状態なのかということや当事者や家族の想い、ひきこもりサポーターの活動、居場所での活動について学んでいただきました。

受講者からは「講座を聞いてひきこもりに対するイメージが変わった」「多くの人がひきこもりについて正しい知識を身につけることが大切だと感じた」というご感想をいただきました。

来年度も開催を予定しております。興味、ご関心がある方はぜひご受講ください！



ひきこもりについて
知ろう

ミニ

出 前 講 座



ごあんない

Q. ミニ出前講座とは？

より多くの方にひきこもりについて知っていただくため、ひきこもり支援センター職員が地域にお伺いし、お話をさせていただきます。

Q. 時間や場所は？

講座の所要時間は30分ですが、延長も短縮も可能です。ご相談させていただきます。

ご希望の場所にお伺いいたします。



昨年度は総社市内の企業や団体からのご依頼により3回開催しました！

【お問い合わせ】

ひきこもり支援センター TEL：(0866) 92-8597 E-mail：soudan@sojasyakyo.or.jp

※ご了承をいただいた方についてのみ、紙面上に寄付金額等を掲載させていただいております。

あなたの
心
活かします

種 別	金 額 等	寄 付 者	住 所
香典返し	10,000 円	石井 貞枝 亡夫（與次郎）	総社 3 丁目
一般寄付	20,000 円	小林 寛明	福井県福井市
	5,761 円	旧序舎譲渡会	
	缶詰 1,364 缶	NPO 法人 AMDA	岡山市北区
	米 293 kg	瑞泉院 高原妙泉	岡山市中区

下記については、金額の多寡にかかわらずご希望により寄付金額は掲載しておりません

寄 付 者	住 所	寄 付 者	住 所	寄 付 者	住 所
▽香典返し					
森脇 清子	亡夫（幸雄）	窪木	瀧川 晃三	亡義母 (吉富 敏子)	福井
浅沼 秀規	亡母（晴子）	下原	小西裕一郎	亡母（美智子）	高杉 裕一
深本 真吾	亡妻（ひろみ）	総社	神野 雅樹	亡父（嵩）	浅野 忠義
中村 英一	亡父（政夫）	三須	沼本 吉弘	亡母（康恵）	西山 義宏
安永美津枝	亡夫（澄夫）	横谷	牧野 正明	亡父（薰）	黒尾
楠 晶容	亡夫（繁男）	真壁	守屋 豊子	亡義母（喜努子）	野瀬 陽子
植田 克利	亡父（博也）	日羽	板野 晴美	亡義母（キヌ子）	小寺
守屋 正人	亡母（公子）	溝口	矢吹 紘一	亡妻（久枝）	林 行治
小池 一史	亡父（眞一）	八代	畔柳 智子	亡母（喜美子）	井田 倫夫
高本 桂子	亡母（茂子）	富原	河原 晋	亡父（信雄）	江口満作子
久安 富子	亡夫（一男）	駅南 2 丁目	中川 真人	亡父（恭佑）	高杉 和男
丸山 秀樹	亡母（カネ子）	泉	瀧川 昭子	亡夫（典男）	亡母（喜代子）
					日羽
					久代
					八代
					西阿曾
					南溝手
					富原
					清音軽部
					日羽
				▽一般寄付	
				総社西中昭和 34 年卒業生	
				同期会	
				則本 一彦	宿

（令和7年5月21日～令和7年9月20日まで 敬称略）

日本赤十字社

JAPANESE RED CROSS SOCIETY

赤十字活動資金へのご協力ありがとうございます

皆様からご協力いただいた赤十字活動資金は、災害などで被災された方々への救援、支援をはじめ、防災・減災の知識・技術の普及啓発やボランティアの育成、医療事業、血液事業などに活用されます。

今後とも、赤十字事業へのご支援とご協力をよろしくお願ひいたします。



食糧品のご寄付をいただきました！！

令和7年9月8日（月）、NPO 法人 AMDA 様より、缶詰（サバ缶など）7種類 1,364 缶のご寄付をいただきました。

子ども食堂や、生活にお困りの方への支援、市内で子育てサポートを実施している NPO 法人を通じての食糧支援などに活用させていただきます。

この度はあたたかいご支援、誠にありがとうございました。



食糧品のご寄付は随時生活困窮支援センターで受け付けています！

【お問い合わせ】生活困窮支援センター TEL：(0866) 92-8374 E-mail：soudan@sojasyakyo.or.jp



日時：令和7年12月6日（土）13:00～16:00
場所：山手公民館（総社市岡谷151-1）

SNSもチェック！



お問い合わせ：ハートフルそうじや実行委員会（社会福祉協議会内）

TEL：0866-92-8578 Mail：sodan@sojasyakyo.or.jp

主催：総社市地域自立支援協議会

共催：総社市共同募金委員会、総社市社会福祉協議会、総社市

この事業は「赤い羽根共同募金」から支援を受けています

地域自立支援協議会
facebook

vol.78（7月号）掲載内容の一部訂正について（お詫び）

次のとおり誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします

【訂正箇所】

目次（表紙）及び見出し（4ページ）

【内容】

（誤）災害ボランティアフェスティバル

（正）災害ボランティアセンター設置演習

【お問い合わせ】 総務企画課 TEL：(0866) 92-8555

タイムリーな情報はこれら！

本会の取り組みや各種講座、イベント等の情報を掲載しています。下記 QR コードからアクセスしてみてください。



ホームページ



Facebook



X



「みんなのちいきふくし」は、赤い羽根共同募金配分金の一部を利用して発行しています。



この広報誌は再生紙を使用しています。